

浜松医科大学

第10期事業年度(平成25年度)
2013年4月1日~2014年3月31日

財務レポート2014



浜松医科大学は、

- 1) 優れた医療人を養成すること(教育)
 - 2) 独創的で世界の最先端研究の拠点になること(研究)
 - 3) 最善・最高の医療を提供し地域医療の中核的役割を果たすこと(診療)
 - 4) 産学官連携など、大学が持つ「知」を社会へ提供、還元すること(社会貢献)
- を使命とし、「教育」、「情報・広報」、「総務」、「研究推進」、「経営」、「病院運営」及び「調査・労務」の7つの企画室を設置し、4名の理事及び3名の副学長を中心に中期目標・中期計画に沿って事業の企画立案を行っています。

今後についても「多様な資金の確保」、「経費の効率的な使用・管理経費の抑制」、「有効な資源の配分」を推進し、教育、研究、診療及び社会貢献等の質の向上に取り組み、社会に期待される大学を目指していきます。

ごあいさつ

浜松医科大学長
中村 達



平成25年度が終わり、決算の時期が参りました。第二期中期目標・中期計画期間は4年が経過しています。

さて、文部科学省では平成25年度から平成27年度の3年間を大学改革・機能強化加速期間と位置づけて、各国立大学法人は一層の特徴、強みを示し、財政的健全化に向けて改革していく基本的方向性を示しています。

本学は、まず医学系分野にて医学科のミッションの再定義を行い平成25年12月に公表、続いて保健系分野にて看護学科のミッションの再定義を行い平成26年4月に公表しました。これらのミッションに沿って大学改革に取り組む方針を文部科学省との意見交換会及び第41回経営協議会にて述べました。

大学改革を推進し、本学の特徴と強みをさらに発展させ、大学本来の目標である教育、研究、診療について地域医療に貢献しつつ、世界に新しい研究成果を発信していくことに変わりはありません。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

浜松医科大学理事(財務担当)

前田 広

日頃より浜松医科大学の教育、研究、診療等の活動にご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

この財務レポートは、6月に文部科学大臣へ提出した第10期事業年度(平成25年度)の財務諸表等を基に、本学の活動状況をより分かりやすく説明するために作成しています。

我が国の厳しい財政状況の中、基盤的経費である運営費交付金は毎年削減され、本学の財政状況も引き続き厳しい状況が続いていますが、病院収入の増加、外部資金の獲得、コストダウン等に努め経営改善に努力しています。

本学では、「国立大学改革プラン」の一環として平成25年12月には医学及び平成26年4月には看護学について、公表しましたミッションの再定義を踏まえ、大学の強みや特色を伸ばし、その社会的役割を一層果たしていくため、機能強化を図ることとしていますが、このためには財政基盤の強化が必要と考えていますので、引き続き皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

貸借対照表

要約

決算日における資産、負債、純資産を表し、財政状態を明らかにしています。借入金等の負債と国からの出資等の純資産による土地、建物等の資産をもとに教育、研究、診療の業務活動を行っています。

(単位：百万円)

資産の部	25年度	24年度	増減(25-24)
土地	6,493	6,489	4
建物	22,612	22,216	396
構築物	278	266	12
工具器具備品	5,311	6,277	▲ 966
図書	605	604	1
その他有形固定資産	8	9	▲ 1
無形固定資産等	121	135	▲ 14
固定資産 計	35,430	36,000	▲ 570
現金及び預金	7,531	7,821	▲ 290
有価証券 ^{※1}	—	600	▲ 600
未収附属病院収入	2,869	2,883	▲ 14
たな卸資産	231	240	▲ 9
未収入金等 ^{※2}	149	463	▲ 314
流動資産 計	10,782	12,008	▲ 1,226
資産合計	46,213	48,008	▲ 1,795

負債の部	25年度	24年度	増減(25-24)
資産見返負債 ^{※3}	3,072	3,081	▲ 9
借入金	20,226	20,342	▲ 116
リース債務	1,794	2,191	▲ 397
運営費交付金債務	195	552	▲ 357
寄附金債務	2,056	1,928	128
前受受託研究費等	265	286	▲ 21
未払金 ^{※4}	3,685	4,816	▲ 1,131
預り金・その他	628	535	93
負債合計	31,925	33,734	▲ 1,809
純資産の部	25年度	24年度	増減(25-24)
資本金	5,317	5,317	—
資本剰余金	4,603	4,732	▲ 129
利益剰余金	4,366	4,224	142
(うち当期末処分利益)	186	▲ 223	409
純資産合計	14,287	14,274	13
負債・純資産合計	46,213	48,008	▲ 1,795

☆貸借対照表、損益計算書の端数処理については、百万円未満を切捨てています。合計についても円単位で計算したものを端数処理して、百万円未満を切捨てています。

【資産】

平成25年度末現在の資産合計は前年度比1,795百万円(3.7%)減の46,213百万円となっています。

主な要因としては、

建物が医学部附属病院外来棟改修工事の竣工等により396百万円(1.8%)増の22,612百万円となったこと、

工具器具備品が病院再整備事業の設備整備等による減価償却に伴い966百万円(15.4%)減の5,311百万円となったこと、

有価証券を含む現金及び預金が工事費等の未払金の減少等に伴い890百万円(10.6%)減の7,531百万円となったことが挙げられます。

【負債】

平成25年度末現在の負債合計は前年度比1,809百万円(5.4%)減の31,925百万円となっています。

主な要因としては、

未払金が前年度発生していた医学部附属病院外来棟改修工事の出来高払分が減少したこと等に伴い1,131百万円(23.5%)減の3,685百万円となったことが挙げられます。

【純資産】

平成25年度末現在の純資産合計は前年度比13百万円(0.1%)増の14,287百万円となっています。

主な要因としては、

資本剰余金が損益外減価償却累計額の増加等に伴い129百万円(2.7%)減の4,603百万円となったこと、

利益剰余金が前年度は当期末処理損失223百万円のところ、当期末処分利益186百万円を計上したこと等により142百万円(3.4%)増の4,366百万円となったことが挙げられます。

- (注) ※1 有価証券 有価証券はすべて譲渡性預金です。資金管理委員会等の決定により短期(1年以内)の定期預金として複数の金融機関の利率を比較し運用しています。このうち譲渡性のもは、有価証券として区分することとなっています。平成25年度は譲渡性ではない定期預金でした。
- ※2 未収入金等 当該年度の収入として取扱うもののうち次年度の4月以降に入金される分となります。前年度は外来棟改修に伴う静岡県(厚生労働省)からの「医療施設耐震化臨時特例事業費補助金」347百万円が含まれていました。
- ※3 資産見返負債 資産見返負債とは、運営費交付金、寄附金、補助金等を財源として取得した資産については、取得時に資産と同額の「資産見返負債(各々の財源の名称)」を負債に計上し、その資産の減価償却相当額と同額を取り崩し収益計上することで、収支均衡に作用する国立大学法人等の特有の勘定科目です。
- ※4 未払金 業者等への3月末時点での支払未完了の金額で5月末までには全額支払されるものです。

損益計算書

要約

年度内に実施した事業により発生した費用、収益を表し、一年間の運営状況を明らかにしています。
教育、研究、診療の業務・目的別に費用を示し、運営費交付金や附属病院等の財源別に収益を示しています。

(単位：百万円)

費用の部	25年度	24年度	増減(25-24)
教育経費	348	291	57
研究経費	1,228	1,229	▲ 1
診療経費	11,689	11,533	156
教育研究支援経費	101	168	▲ 67
受託研究費	597	615	▲ 18
受託事業費	200	179	21
人件費	10,326	9,922	404
一般管理費	444	408	36
財務費用	337	341	▲ 4
経常費用合計	25,274	24,690	584
臨時損失			
固定資産除却損	9	531	▲ 522
その他	19	28	▲ 9
費用合計	25,302	25,250	52
当期総利益(損失)	186	▲ 223	409

収益の部	25年度	24年度	増減(25-24)
運営費交付金収益	5,087	4,787	300
授業料等収益	708	699	9
附属病院収益	17,284	17,094	190
受託研究収益	606	626	▲ 20
受託事業収益	200	182	18
寄附金収益	459	461	▲ 2
間接経費収入	136	136	—
施設費収益	20	9	11
補助金収益	153	132	21
資産見返負債戻入	623	723	▲ 100
財務収益	1	1	—
その他の収入	184	163	21
経常収益合計	25,468	25,017	451
臨時利益	9	6	3
収益合計	25,477	25,024	453
目的積立金等取崩額	10	2	8

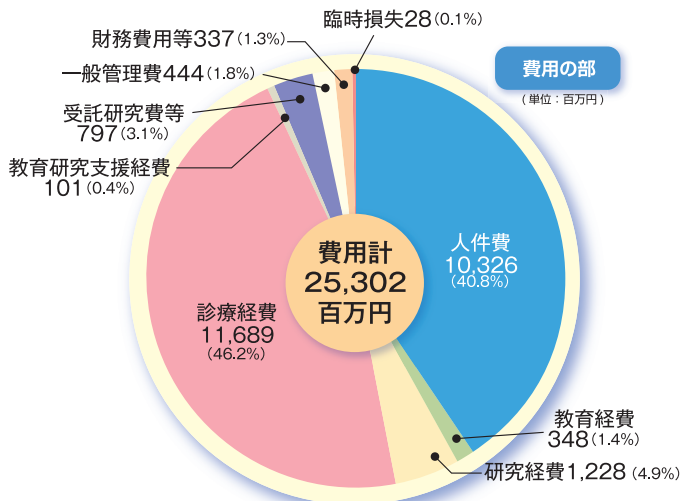
【経常費用】

平成25年度の経常費用は前年度比584百万円(2.4%)増の25,274百万円となっています。

主な要因としては、

診療経費が患者数及び手術件数の増加に伴う医薬品費及び診療材料の調達増により156百万円(1.4%)増の11,689百万円となったこと、

人件費が退職者の増等により404百万円(4.1%)増の10,326百万円となったことが挙げられます。



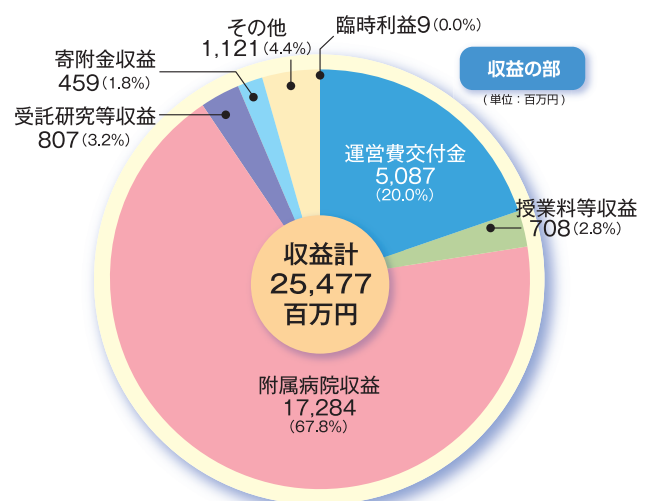
【経常収益】

平成25年度の経常収益は前年度比451百万円(1.8%)増の25,468百万円となっています。

主な要因としては、

運営費交付金収益が特殊要因経費及び復興関連事業等により300百万円(6.3%)増の5,087百万円となったこと、

附属病院収益が入院診療単価の向上等により190百万円(1.1%)増の17,284百万円となったことが挙げられます。



平成25年度 主な事業

● 運営費交付金等による国の支援のほか、職員の努力により外部資金及び病院収入等が増加した中で、効率的な運用を図ることにより下記のような事業を実施することができました。

教育に関する事業

- 1 学習環境の向上を図るため臨床講義棟を改修し、大講義室の急勾配床を解消しました。
- 2 平成24年度に続き、附属図書館2階にラーニング・コモンズを設置し、学生のグループ学習室の確保等、3年計画で実施した図書館の有効利用及び改修計画を終了しました。
- 3 保健管理センターを改修し、セルフケアラウンジを設け、相談室の拡充を図りました。
- 4 海外の大学と国際交流を推進するため、新たにヒツタイト大学(トルコ)と学術交流協定を締結し、協定校は14校となりました。

研究に関する事業

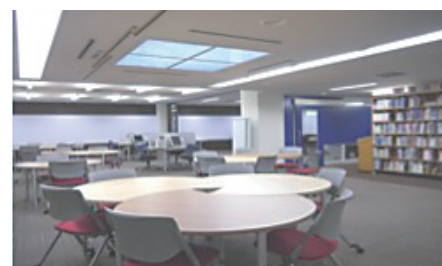
- 1 文部科学省のCOI STREAMに、静岡大学、光産業創成大学院大学、浜松ホトニクス(株)と共同で申請を行い、COIサテライト拠点として、「時空を超えて光を自由に操り豊かな持続的社会を実現する『光創起イノベーション研究拠点』」が採択されました。
- 2 戦略的研究支援事業の機器導入事業として、質量分析装置の補強及び次世代DNAシーケンサーを導入しました。
- 3 メディカルフォトンクス研究センターの空調設備を更新し、省エネルギー化を図りました。
- 4 特殊な膜で生物を覆うナノスーツを用いて生きたまま電子顕微鏡で観察ができる技術を開発し、米科学アカデミー紀要電子版に論文が掲載されました。
- 5 戦略的共同研究支援事業として、「高真空内においてWettabilityを維持するナノスーツ法とその変法を用いた医学応用への展開」の学内共同研究を開始しました。

診療に関する事業

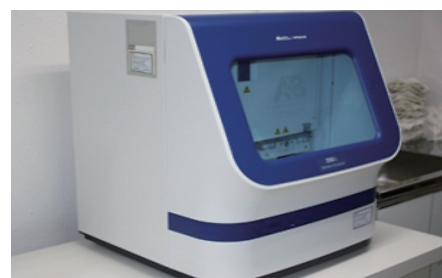
- 1 病院再整備事業の設備整備として、病院収入により磁気共鳴断層撮影システム(MRI)及びX線CT撮影システム等を導入しました。
- 2 NICUを3床増床したことにより、低体重新生児や異常分娩等への対応が拡大し、特定入院料の増収を図ることができました。
- 3 薬剤師を増員し病棟における薬剤業務を実施することで、入院患者への薬剤指導、病棟の医師・看護師への薬剤に対するフォローが可能となりました。
これは、病棟薬剤業務実施加算の取得及び薬剤管理指導の拡充に繋が
り増収も図ることができました。
- 4 夜間帯の看護体制を整備した結果、看護職員夜間配置加算の取得が可能となり、増収を図ることができました。
- 5 外来棟改修工事が竣工し、病院再整備事業が完了しました。



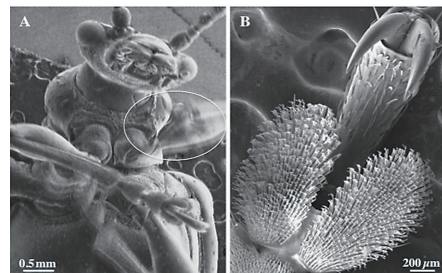
1 臨床講義棟



2 図書館



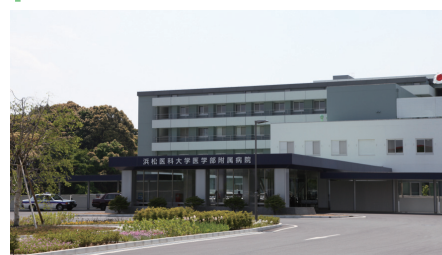
2 DNA シーケンサー



4 ナノスーツ顕微鏡画像

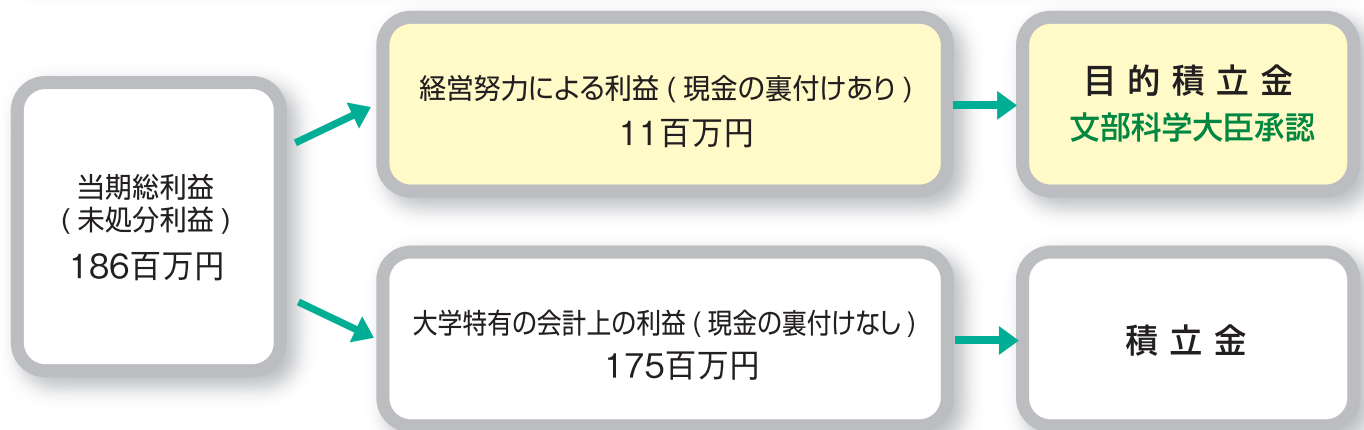


1 MRI



5 外来棟 竣工

利益の内訳(利益の処分に関する書類)



附属図書館ラーニング・commonsでのディスカッション

平成26年3月、附属図書館内にラーニング・commonsが完成しました。ラーニング・commonsは、学生をグループ討議やプレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングへと促す効果があり、学習成果の向上、学生同士のコミュニティ作りと交流の活発化が期待できます。

※本レポートに関連する資料は、浜松医科大学ホームページにて開示しています。

- 中期目標・中期計画、年度計画 http://www.hama-med.ac.jp/uni_introduction_chukimokuhyo.html
- 財務諸表、事業報告書等 http://www.hama-med.ac.jp/uni_introduction_report_hjyouhou.html



国立大学法人浜松医科大学 財務レポート2014(平成25年度)

発行:国立大学法人浜松医科大学会計課

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053-435-2111(代)

<http://www.hama-med.ac.jp>